



WATARIDORI
～渡り鳥～

ドイツからやってきた国際交流員(CIR)の
アネマリー・グンツェルさんが、ドイツの文
化や田川での生活などを紹介します。

●アネマリーさんのブログ公開中！
<https://tagawacir.wordpress.com>

スマホ、携帯電話は
こちらから

QRコード➡



家を建てるときのドイツの習慣第1部：Richtfest

リットヒトフェスト

ドイツでは、暖かい季節に住宅の建設を
始める家庭が多いです。今回は、ドイツの
「上棟式=リットヒトフェスト (Richtfest)」
を紹介します。

ヨーロッパのさまざまな国で上棟式が行
われていますが、ドイツでは14世紀頃から
始められ、長い歴史があります。上棟式は、
家族が幸せに暮
らす家庭を築く
ために大切な習
慣だと考えられ
ています。上棟
式を担当するの
は家を建てる家



族で、参加者は、建築家や大工、近所に住
む人、家の建設を手伝ってくれた人たちで
す。当日は、大工が常緑樹の葉や旗で作っ
た飾りを屋根に飾り、家主が参加者の前で
スピーチをします。スピーチが終わると、
ドイツの習慣で家の屋根からガラスを落と
します。これは、ガラスが割れると、住宅
の建設に縁起が良いとされているからです。
最後に、食事会が催され、肉やパン、ビー
ルのほか、ドイツの伝統的な料理を楽しみ
ながら、家族や参加者は絆を深めます。

今日の言葉
リットヒトフェスト
Richtfest (上棟式)